

古くなった小中学校の机・椅子の交換 介護利用料の軽減を

余剰金19億円の8.2%
緊急な市民要求に活用して



特養ホームを視察する日本共産党市議員

サービス削って貯めたお金は 福祉、教育充実に使うべき

日本共産党が提出した「予算修正案」は、昨年度予算の余剰金19億円のわずか8.2%、

1億5千6百万円を緊急に求められている福祉と教育の予算に回すべきという内容です。一つは、介護保険第二段階（住民税非課税世帯）の方の在宅介護利用料を4%軽減するための予算で、千人分、1千8百万円です。もう一つは、小中学校の古くなった机と椅子を交換する予算で、全校一学年分、1億3千8百万円です。日本共産党の提案理由の説明に対し、他党の議員は、何の質疑もなく否決しました。

今議会でも「町田市商店街の活性化に関する条例」が可決されました。コンビニやフランチャイズ加盟店なども商店街に加盟する努力規定が設けられています。中小企業全体にとっては、不十分な点もありますが、この9月議会の補

正予算で、「産業振興基本方針」を検討する予算化もされ、市内産業全体の方向性が来年3月に条例提案される予定です。共産党市議員は、この間、地域商店街の活性化と中小企業振興を目的とした条例の制定をくり返し質問し、この質問が実を結ぶことになりました。



原町田の商店街

商店街活性化条例が可決 共産党 くりかえし要求し、実現

9月市議会

二〇〇五年度町田市議会第三回定例会が、九月七日から十月十二日まで行われました。日本共産党は、市長の一般会計補正予算に対して教育・福祉を守るため「修正案」を提出しましたが、自民・公明・民主・社民・生活者ネットの反対で否決。原案が可決されました。条例では、日本共産党が要求してきた「商店街活性化条例」、「斜面地における建築物の建築の制限に

関する条例」や、全会派共同提出による「市税条例の一部を改正する条例」（都市計画税の減税期限延長）などが可決。「キヤノン座間へのアメリカ陸軍第一軍司令部等移転計画に関する意見書」、「義務教育費国庫負担制度を堅持することを求める意見書」も可決しました。日本共産党は、市民の切実な要求実現へ一般質問を行いました（2・3面）。

日本共産党 補正予算の「修正案」を提出

自民・公明・民主・社民・ネットが反対し、否決に

サイクリング道路にトイレ整備 二つの学童クラブ設置など予算化

今回の一般会計補正予算には、日本共産党と市民のみなさんとの取り組みで実現できた予算があります。境川と恩田川のサイクリング道路にトイレを整備する予算、(仮)南つくし学童クラブ、(仮)小山田学童クラブを新たに設置する予算などが計上されました。

市民犠牲の4年間の寺田市政 ささえ、すすめる「オール与党」

この4年間、「オール与党」（自民、公明、民主、社民、生活者ネットなど）寺田市政は、市民負担増や福祉・教育の予算や、制度をばっさり削減。その一方、200億円以上の税金を投じる新庁舎建設計画を市民合意なしに強引に進めてきました。日本共産党5名の市議員は、「オール与党」の悪政と対決し、福祉・くらし優先の市政をすすめてきました。

市民負担増、福祉・教育の削減

国保税・保育料のきなみ値上げ
「高齢者入院見舞金」も廃止に

「オール与党」市政は、介護保険料や国民健康保険税は三多摩で一、二を競う高額負担に、保育料や公共施設使用料も大きな値上げしました。10月からはこみ有料化によって、10億円もの新たな市民負担が加わりました。また、全国に先駆けてつくった高齢者入院見舞金や、被爆者見舞金が廃止されました。元に戻してほしいという署名を添えて出された、私立小中学校保護者補助金や高齢者、障がい者憩いの家補助金は、請願が採択されたにもかかわらず復活されていません。教育予算の削減は深刻です。消耗品費や備品費が削られ、学校現場からは「子どもたちの教育予算を減らさないでほしい」という声が上がっています。



市民生活よりも 新庁舎建設を優先

「オール与党」市政は、新しい市役所の建設計画を進めています。48億円の土地購入に始まり、市民懇談会で「反対・疑問」が多数だったのに、04年3月、庁舎を移転する条例を多数で可決、その後の関連予算にも賛成しています。市民の大切な税金が200億円以上も使われます。日本共産党は、税金の使い方を市民生活優先にするよう、新庁舎建設の白紙撤回を求めています。

新しい庁舎に200億円使うより福祉・教育の充実を 市民とともに改革すすめる 日本共産党



エレベーターが設置された町田バスセンター

切実な市民要求 実現に奮闘

乳幼児医療費無料化拡充
特養ホーム建設
駅バリアフリー化など

日本共産党5名の市議員は、「オール与党」の悪政と対決し、切実な市民要求実現に取り組んできました。子育て中の市民の願いにこたえ、4歳未満児全員の医療費を無料にすることができました。また、学校現場から「夏場の音楽室は蒸し風呂のようだ」という声にこたえて議会で要求。今年から音楽室にクーラーが設置されました。特別養護老人ホームの建設、小田急やJRの駅のバリアフリー化（エレベーター、エスカレーター設置）など、市民のみなさんとともに奮闘しました。

何でもお気軽にご相談ください 日本共産党市議員



佐々木とも子
☎793-4137



佐藤 よう子
☎797-5948



細野りゅう子
☎796-8163



たかしま 均
☎734-1116



とのむら健一
☎793-5458



革新町田市民の会
事務局長
さみぞ 裕子

無料法律相談（年内のご案内）

11月30日(水) 町田市役所5階
12月14日(水) 日本共産党
議員団控室

いずれも午後2時～5時
連絡先☎723-6312
または各市議までご予約下さい。

日本共産党演説会

●2006年1月26日(木)夜7時 ●町田市民ホール

弁士 衆議院議員(比例東京ブロック) 笠井 亮

日本共産党市議員団のホームページができました
http://www.jcp-machidashigidan.jp/

2005年11月

発行 日本共産党町田市議員団
住所 町田市森野3-7-46
TEL042(723)6312 FAX(725)1988
Eメール machida.gikai07@dream.com

日本共産党 町田市議員団 ニュース